

令和6年度 第14回宮崎チャレンジマッチ「水球競技」報告

宮崎チャレンジマッチ実行委員会

第14回宮崎チャレンジマッチ「水球競技」がMRT宮崎放送・UMKテレビ宮崎・宮崎県・宮崎県教育委員会・公益財団法人宮崎県スポーツ協会の主催で6月16日（日）、県立宮崎工業高等学校屋内プールにて開催された。

今大会では、九州ではトップクラスの実力でユース日本代表候補選手を擁する沖縄県選抜と本県と同様に2030年に国スポ開催を控え、少年種別の競技力向上に力を入れている島根県選抜の2チームを迎え、2ピリオド（通常は4ピリオド）のリーグ戦でチャレンジマッチを実施した。

第1試合目は宮崎県代表 v s 島根県選抜。堅守速攻をテーマとして掲げる宮崎県代表が、堅い守りから攻撃に切り替え、立て続けにゴールを決め、15-3で島根県選抜に圧勝した。

第2試合目は沖縄県選抜 v s 島根県選抜。パワー、スピード、スキルで沖縄県選抜が圧倒し、18-1で勝利した。その中でも、島根県選抜の湊拓巳主将が、終了間際に意地のシュートを決めて、会場を沸かせた。

第3試合目は、沖縄県選抜 v s 宮崎県代表。沖縄県選抜が前線からプレッシャーを与えパスコースを消す堅守から、ボールを奪い、多彩な攻撃で得点を重ねた。宮崎県代表は終始追う展開となったが、花井翼主将を中心に、サイドを上手く使った攻撃を展開。後半3分で2点差まで追い上げを見せたが、10-6で沖縄県選抜が勝利した。その結果、沖縄県選抜が2戦2勝で、優勝した。

各種大会が続き、タイトなスケジュールの中での本大会開催となったが、たくさんの応援の中で普段できない相手と対戦できたことや、前日の交流練習会で、実践さながらの練習が取り組めたことは、これからインターハイ予選、九州ブロック大会等の大事な大会を控える本県代表にとって、とても有意義な大会となった。

また、昨年1月に完成したばかりの本会場では初めての大きな大会の運営であったが、今年7月に本会場で開催される九州ブロック大会、そして2027年宮崎国スポに向けて、運営の立場からも様々な視点で課題を見つけることができ、本県運営側にも大変貴重な経験となった。

最後に、今大会の開催にあたり、御支援いただいた協賛各社等の皆様、チーム選考から大会の準備・運営に御尽力くださった宮崎県水泳連盟、そして多くの県民の皆様に心から感謝申し上げます。

【試合結果】

（第1試合）宮崎県代表 v s 島根県選抜

	1P	2P	計
宮崎県	6	9	15
島根県	2	1	3

（第2試合）沖縄県選抜 v s 島根県選抜

	1P	2P	計
沖縄県	10	8	18
島根県	0	1	1

（第3試合）沖縄県選抜 v s 宮崎県代表

	1P	2P	計
沖縄県	7	3	10
宮崎県	4	2	6

【総合成績】

- 第1位 沖縄県選抜（2勝0敗）
- 第2位 宮崎県代表（1勝1敗）
- 第3位 島根県選抜（0勝2敗）

【優秀選手賞】

- 花井 翼 選手（宮崎県代表）
- 湊 拓巳 選手（島根県選抜）
- 比嘉 夏海 選手（沖縄県選抜）

【協賛各社の紹介】



【開会セレモニー】



【実行委員長挨拶】



【協賛品贈呈】



【記念品贈呈】



【チャレンジマッチ第1試合目】



【チャレンジマッチ第2試合目】



【チャレンジマッチ第3試合目】



【応援する WAP 生】



【優勝盾贈呈】



【優秀選手】



【選手インタビュー】



【競技団体代表挨拶】



【参加選手 集合写真】



写真提供：脇元 文良 様